

平成24年度に建設工事で発生した事故事例（挟み込みによる事故）

事故概要:

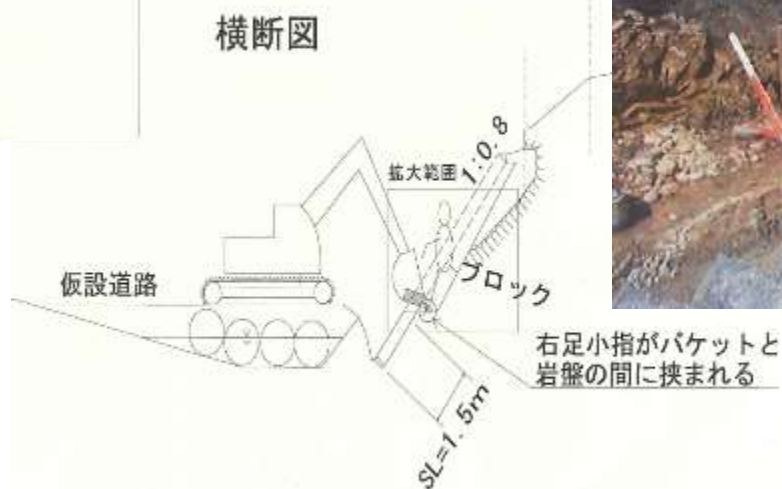
ブロック積を施工中、バックホウのバケットの中になるブロックを作業員が取り出そうとしたところ、ブロックの重みでバケットが下がり、作業員の右足の小指がバケットと岩盤の間に挟まれ負傷した。

事故原因:

- ・バケットと地面との隙間に足を入れて作業した。
- ・安全靴の未着用

改善対策:

- ・バケットは必ず地面に付け、エンジンを止める
- ・安全靴の着用を徹底



分類: ブロック積工、BH運搬

被害状況: 全治2週間の見込み(右足趾左挫創、右第5趾挫滅切断創)

令和2年度に建設工事で発生した事故事例（建設機械事故）

【事故概要】

路側ブロック積工において、合図者の指示の下、作業員がバックホウのバケットから胴込コンクリート打設を行っていたが、運転手が下方の作業場所を確認しようと、運転席から身を乗り出した際、服が操作レバーに引っ掛かり、重機が動いて作業員にバケットが当たった。

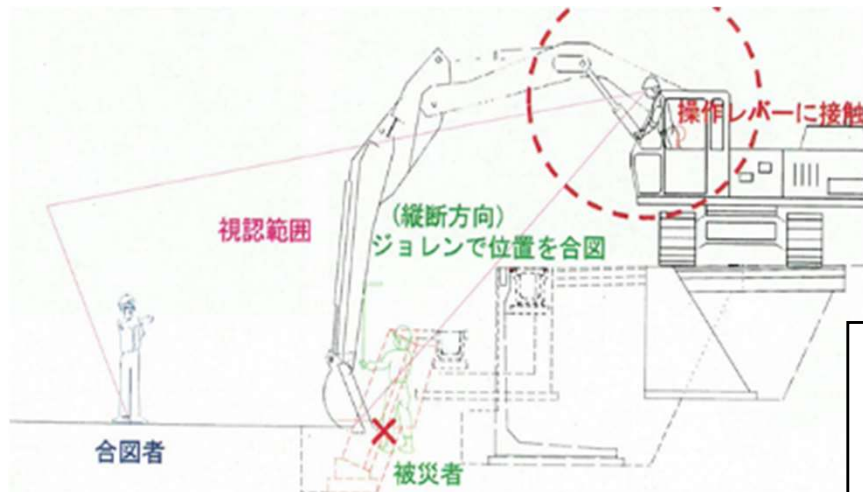
【事故原因】

- ・現場が狭小であるため、現場の判断で作業手順を定めずに、施工計画書とは異なる方法で、コンクリート打設作業を行っていた。
- ・胴込コンクリート打設作業を、運転手から死角となる箇所で行っていたことが、運転手が身を乗り出す要因となった。
- ・重機の安全装置の使用を怠ったこと、および運転手の作業服がレバー類に引っかかるようなものであったこと。

【改善対策】

- ・暫定対策として、バックホウ運転手から見え、かつ作業員から離れた箇所に重機による荷下ろしを行い、人と重機が接触しないようにするとともに、死角部については、小運搬により胴込を行うよう作業手順を改め、建設重機と作業員が接触しないようにする。
- ・恒久対策として、狭隘な箇所でも重機と人が接触せずにコンクリート打設ができる油圧式のコンクリートホッパーを新たに購入し使用する。
- ・重機内に運転時禁止事項を記した作業手順書を貼付け、安全装置使用及び誤操作の要因となるような服装をしないことを徹底する。

事故状況横断面図



事故発生時の状況



バックホウ手前の擁壁により、下方作業箇所が見えない状況であり、そこで作業員が作業を行っていた。

【分類】 ブロック積み工 BH運搬

【被害状況】業者人身 1人 両足骨折（2ヶ月の入院・自宅療養）

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（転落事故）

【事故概要】

二次製品（護岸基礎ブロック）を10tダンプトラックからバックホウで吊り下ろす作業中、吊り上げ専用器具の片方が外れて、器具が業員の顎に当たりバランスを失い荷台から転落して負傷したものの。

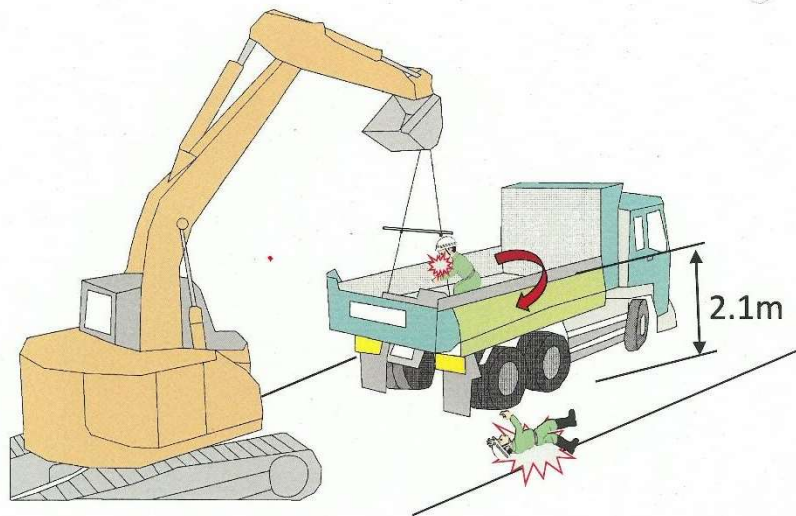
【事故原因】

- ・繰り返しの作業が連続することにより作業に気のゆるみが生じ、作業者は吊り上げ専用器具のワイヤーのかかり具合を十分に確認しないまま、ワイヤーにテンションをかけた。
- ・被災者は、安全な位置に移動することを怠り、吊荷の隣からオペレーターに吊り上げの合図を送った。

【改善対策】

- ・工事ごとに準備する吊荷作業手順書を見直し、吊り上げ器具の使用方法の確認と監視人設置の要否の確認及び吊り上げ作業者は自らの安全を十分確保した位置から吊り上げの合図を送る旨を追記。
- ・今回の教訓を各現場のKYで取り上げ、協力会社も含めて周知徹底する。

事故現場状況図



今回外れた吊上げ専用器具



【分類】ブロック積工 BH運搬

【被害状況】業者人身 男1名 男1名 57歳 左大腿部打撲(約2週間の加療)